

各常置委員会の委員応募内容一覧

委員会名	募集人数の目安	活動紹介	ご担当いただきたい業務内容	応募要件	その他特記事項	応募用紙提出先・照会先	
	採用人数は募集人数を超える場合や、少ない場合があります。採用がない場合もあります。	主な活動内容	委員会開催頻度 ※コロナ禍の現状ではzoomでの遠隔会議を基本として開催しています。				
大会	・3名程度	大会委員会では、学会の春季（5月・主に首都圏のコンベンションセンター等）、及び秋季（11月下旬・各地のコンベンションセンター等）の大会事業に係る業務全般を担当しています。大会全体の企画・運営、発表応募審査、大会若手優秀発表賞選考部会の運営、プログラム・予稿集の作成、広報、大会当日の運営など、他委員会との連携の下に行っています。	全体会議：年4回 分科会：必要に応じて適宜 その他随時メール等での審議	主な業務： ・発表応募要旨の審査（査読結果の集約・採否の決定） ・大会当日の運営業務の監督、発表・企画の進行管理等 ・大会の企画・運営に関わる年間を通じた上記の諸業務	左記の業務を行える経験や知識を有すること （他学会や研究会での委員活動経験も可）	基本的に、春季・秋季の両大会に参加できる方を募集します。大会参加にかかる費用（参加費・旅費）はすべてご自身での負担をお願いしています。委員会会議は年4回（2月・4月・8月・10月）を予定しております。なお、学会事務局での会議参加が難しい遠方の方等はZoomによる会議参加も可能です。	taikai-office@nkg.or.jp
支部活動	関西支部 1名程度 (大阪・奈良・京都・兵庫・滋賀・和歌山) ※なお、各地域に在住・勤務していない場合でも、その地域の支部活動に貢献したいという場合は応募可能です。	・会員からの応募企画を、担当する支部で実現するための支援を行います。また、地域の実情、特徴、ニーズに合わせて、支部集会や支部活動を企画、運営します。そのために、他の委員会や運営協力員と協力しながら関連諸機関との連絡調整、プログラムの作成、広報活動も行います。 ・支部集会においては発表応募要旨の審査を大会と共通の枠組みで行います。また、交流ひろば応募の確認、応募企画の審査も行います。また、秋季大会においては、開催地域担当の支部は、交流ひろば、及び地域発信企画の企画、運営を行います。	全体会議：年3回 分科会：各支部打合せ複数回	・支部集会・支部活動の企画・広報・運営・報告 ・応募企画の実現支援 ・発表応募要旨の審査（査読結果の集約・採否の決定） ・他の委員会との連携による企画立案・運営等	・左記の業務を行える経験や知識を有すること （他学会や研究会での委員活動経験も可） ・2017年度以降の支部集会、支部活動、秋季大会における交流ひろばへ参加経験があることが望ましい。 ※なお、支部活動委員の選出に際しては、継続委員との地域バランス、専門性のバランスも考慮しますので、その点、ご了解ください。	基本的に、担当する支部の支部活動に参加できる方を募集します。参加にかかる費用（参加費・旅費）はすべてご自身での負担をお願いしています。	shibu@nkg.or.jp
チャレンジ支援	・3名程度	チャレンジ支援委員会はチーム体制で事業を行っています。 ●はじめて系：「わかばコンシェルジュ」「わかばさんいらっしゃい（大会参加オリエンテーション）」「発表応募支援セミナー」「発表応募よろず相談処」「おせっかい侍の発表応募支援（発表応募書類支援）」 ●キャリア系：「ぶらさだわかば（センパイとの対話の場）」、「キャリアパスフォーラム（日本語教育現場に関する情報提供）」、 ●これから系：「チャレンジ支援委員会勉強会（あしたば）」 会議および担当事業への出席の他、通常の委員会内のディスカッションや情報のやり取りには委員会専用のメーリングリストを多用します。	全体会議：年3回 分科会：必要に応じて適宜	「はじめて系」「キャリア系」「これから系」のいずれかのチームに属し、現委員と共に事業に関わっていただきます。また、新たな委員会企画の考案や実施にも参画いただきます。	他の委員と楽しく協働しながら委員としての役割を主体的に果たし、委員会活動に貢献して下さる方。	委員会活動は大会中に行うものもありますが、個人の発表を妨げるものではありません。	challenge@nkg.or.jp

学会誌	<p>A. 英語論文の査読を担当する主査1名程度 B. 統計手法が用いられた論文の査読を担当する主査1名程度</p>	<p>学会誌委員会では、年に3回刊行される『日本語教育』の刊行事業に関わる業務全般を担当しています。具体的には、投稿論文の査読、特集号の企画・編集、寄稿論文号の企画・編集、学会誌刊行等にかかわる方針の検討などが挙げられます。その中で、今回の公募対象である主査担当委員は、年に3回（1～2月、5～6月、9～10月）、主査として査読を担当します。</p>	<p>全体会議：年3回 ※主査担当委員は出席不要 分科会：必要に応じて適宜 その他随時メール等での審議</p>	<p>1) 主査として、主に英語による投稿論文の査読あるいは統計手法を用いた論文の査読 2) ご自身による査読のほか、副査を含めた査読結果の取りまとめと投稿者宛コメント作成（英語による投稿論文でのコメント作成は日本語によるものとしています） 3) 条件採用になった場合の再査読 *各号につき（年に3回）、最大3本の論文のご担当をお願いします（以下2点に該当する論文の投稿がない場合は査読担当がないこともあります）。 *事前に査読可能な専門分野をお聞きしますので、可能な分野と合致した内容の査読のご担当をお願いすることになります。専門分野が合致する場合、英語論文あるいは統計手法を用いた論文以外の査読を依頼することがあります。</p>	<p>A. 日本語教育、日本語学等の関連分野に関する、英語論文の査読が可能なこと B. 日本語教育、日本語学等の関連分野に関する、統計手法を用いた論文の査読が可能なこと</p>	<p>gakkaishi@nkg.or.jp</p>
調査研究推進	<p>・5名程度</p>	<p>1. 春季大会一般公開プログラム運営 学会が社会的研究課題に取り組む意義を社会一般に広く訴えかけ、理解を深めていただくための無料公開プログラムを毎春実施しております。日本語教育とはあまり縁のなかった識者にご登壇いただいたこともあり、企画側にとっても知見を広げることができる楽しいイベントです。 2. 研究活動支援のためのセミナー・情報提供 外部研究費獲得など、持続的な研究活動を支援するための情報提供を行っています。 3. 研究倫理に関するセミナー・情報提供 調査研究を行う際にも、法令を順守し、ハラスメント防止を心がけなければなりません。セミナー等を通じて、研究倫理への理解を深めるための活動を行っています。 4. 日本語教育学の輪郭を描く「樹形図」の検討 日本語教育学の実際の姿がどのようなものかを検討し、それを「樹形図」のイメージで表す試みをしています。そのために、支部集会でのワールドカフェを実施し、情報収集を行います。</p>	<p>全体会議：年2-3回 分科会：必要に応じて適宜</p>	<p>委員会が所掌する業務全般に関わっていただきます。当委員会の業務は多岐にわたりますので、業務負担が過多とならないよう、イベントごとにチーム(班)を編成し、業務を遂行しています。</p>	<p>本学会会員であること。できれば、学会発表や学会誌への投稿の経験（本学会に限らず）があることが望ましいです。</p>	<p>chosakenkyu-office@nkg.or.jp</p>
社会啓発	<p>・2名程度</p>	<p>本委員会は、次の3点を目的とした事業を行っています。 (1)日本語教育の社会的認知を高める (2)日本語教育の社会的環境づくりをめざす (3)社会的課題の解決のために行動する 学会では、A.生活とことば、B.学習とことば、C.キャリアとことば、を社会的課題と捉え、社会啓発委員会では毎年秋季大会で、これらに関して開催地周辺地域が抱える課題を考える一般公開プログラムを開催しています。また、中央省庁の施策・審議会の情報をとらえ、関係各所に発信したり、日本語教育に関連する様々な話題や問題点に焦点を当てたディスカッション動画を配信したりしています。 *詳しくは学会のホームページの「社会啓発事業」をご参照ください。</p>	<p>全体会議：年5回程度 事業別のワーキンググループでの打ち合わせ：必要に応じて適宜 その他随時メール等での審議</p>	<p>・秋季大会一般公開プログラムの企画・運営 ・ディスカッション動画（NKG TALKERS' Table“N子の部屋”）の作成 ・国や地方公共団体における、日本語教育に関連する施策や動向の情報収集および発信 ・その他寄附活動等社会啓発関連事業</p>	<p>積極的に応募していただきたい方として、「より良い社会づくりのために日本語教育ができることは何か」という問題意識をお持ちの方、また委員会で一緒に考えたいと思っている方</p>	<p>shakaikehatsu-office@nkg.or.jp</p>

国際連携	・2名程度	<p>世界の日本語教育を繋げるために</p> <p>1 日本語教育グローバル・ネットワーク（以下「GN」）の事務局担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育国際研究大会の開催に関し、海外で開催される大会について、その企画への助言等必要な協力、ならびに、本学会による企画立案・実施。また、今後開催される大会についての基本的な構想の協議、立案。GNウェブサイトの管理 ・GN加盟の諸外国・地域の日本語教育学会・研究会・教師会などの情報交流及びその他の連携活動 ・日本語教育分野における諸外国・地域との連携、協力に関し、学会の寄与し得るその他の施策の検討 <p>2 「世界の日本語教育」の原稿の執筆依頼、校正、HP掲載</p> <p>3. 日本語教育グローバル人材奨励プログラムの準備、広報等</p>	全体会議：年4-5回	委員確定後、委員会内で左記活動の主な担当を協議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育国際研究大会 香港・マカオ（2022年11月開催予定）に参加可能な方 ・海外の日本語教育関係者とネットワークをお持ちの方や海外での日本語教育経験のある方が望ましい。 	日本語教育国際研究大会参加の際の交通費・宿泊費などはご自身でご負担いただきますのでご留意ください。	gn-nkg@nkg.or.jp
広報	・2名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学会ホームページ、学会公式SNS（Facebook、Twitter等）の管理・運営 ・学会ホームページの改修に向けた統一的管理・運用体制等の審議 ・学会メールマガジン（月1回配信）の内容確認や、学会公式Twitterで配信（月2回程度）する日本語教育関連情報の収集 <p>※今後は以下の活動にもより積極的に取り組む予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育学会や日本語教育について、広く社会に対し、認知度を高めるための広報活動 <p>また、今後の活動状況によっては、全体会議以外にも、業務担当者間の打ち合わせ等が発生する可能性があります。</p>	全体会議：年2-3回 ※2021年度以降は会議開催数が増えることがあります。 ※その他メールでのやりとりを常時おこなっています。	左記活動内容全般（委員会内で分担）	<ul style="list-style-type: none"> ・左記活動に積極的にかかわってくださる方 ・ウェブサイトやSNS（FacebookやTwitter等）の運用に関する知識のある程度お持ちの方（技術面というよりは、活用のアイデアについての貢献を期待しています） ・公益法人である学会の広報という特性をふまえて活動してくださる方 		kouhou-iinkai@nkg.or.jp

※表彰は委員会の性質上公募の対象としていません。また、連携協力委員会は今期は委員の交代がないため募集を行いません。